

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【公開番号】特開2006-115987(P2006-115987A)

【公開日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【年通号数】公開・登録公報2006-018

【出願番号】特願2004-305626(P2004-305626)

【国際特許分類】

A 47 G 9/02 (2006.01)

A 47 G 9/10 (2006.01)

【F I】

A 47 G 9/02 B

A 47 G 9/10 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月2日(2007.10.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

重量比20%～80%の割合で単纖維纖度が0.05～1.5d texの細短纖維Aと、重量比20%～80%の割合で単纖維纖度が3.0～10.0d texの中空太短纖維Bが混合されてなり、かつそれらの少なくとも1種の纖維にポリシロキサンを含む油剤が重量比0.05～5%の範囲で付与されていることを特徴とする詰め綿。

【請求項2】

重量比20%～95%の割合で単纖維纖度が0.05～1.5d texの細短纖維Aと、重量比5%～80%の割合で単纖維纖度が10.0～30.0d texの中空極太短纖維Cが混合されてなり、かつそれらの少なくとも1種の纖維にポリシロキサンを含む油剤が重量比0.05～5%の範囲で付与されていることを特徴とする詰め綿。

【請求項3】

重量比20%～70%の割合で単纖維纖度が0.05～1.5d texの細短纖維Aと、重量比25%～75%の割合で単纖維纖度が3.0～10.0d texの中空太短纖維Bと、重量比5%～55%の割合で単纖維纖度が10.0～30.0d texの中空極太短纖維Cが混合されてなり、かつそれらの少なくとも1種の纖維にポリシロキサンを含む油剤が重量比0.05～5%の範囲で付与されていることを特徴とする詰め綿。

【請求項4】

細短纖維Aと中空太短纖維Bの纖度が次式を満足することを特徴とする請求項1記載の詰め綿。

$$\text{細短纖維Aの纖度} \times 5.0 \quad \text{中空太短纖維Bの纖度}$$

【請求項5】

細短纖維Aと中空極太短纖維Cの纖度が次式を満足することを特徴とする請求項2記載の詰め綿。

$$\text{細短纖維Aの纖度} \times 15.0 \quad \text{中空極太短纖維Cの纖度}$$

【請求項6】

細短纖維Aと中空太短纖維Bと中空極太短纖維Cの纖度が次式を満足することを特徴とする請求項3記載の詰め綿。

細短纖維 A の纖度 × 5 . 0 中空太短纖維 B の纖度、  
細短纖維 A の纖度 × 1 5 . 0 中空極太短纖維 C の纖度、  
中空太短纖維 B の纖度 × 3 . 0 中空極太短纖維 C の纖度

【請求項 7】

詰め綿を構成する少なくとも 1 種の纖維の纖維間摩擦係数  $\mu_S$  が、 0 . 2 以下であることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれかに記載の詰め綿。

【請求項 8】

中空纖維の中空率が、 1 0 から 7 0 % の範囲であることを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれかに記載の詰め綿。

【請求項 9】

詰め綿を構成する少なくとも 1 種の纖維が、生分解性のポリマからなることを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれかに記載の詰め綿。

【請求項 10】

詰め綿を構成する少なくとも 1 種の纖維に、銀、カルシウム、または銅を含む油剤が、重量比 0 . 1 ~ 1 0 % の範囲で付与されていることを特徴とする請求項 1 から 9 のいずれかに記載の詰め綿

【請求項 11】

詰め綿に 0 . 3 g / cm<sup>2</sup> の圧力を 1 0 分かけたときの詰め綿の厚みを初期厚みとし、さらに 4 g / cm<sup>2</sup> の圧力を 1 分かけたときの詰め綿の厚みを圧縮厚みとし、さらに再び 0 . 3 g / cm<sup>2</sup> の圧力に戻し 1 0 分後の詰め綿の厚みを初期回復厚みとし、そして 6 0 分後の詰め綿の厚みを後期回復厚みとしたとき、下記計算式で表される圧縮率が 5 5 ~ 8 0 % で、初期回復率が 4 0 ~ 7 0 % で、後期回復率が 5 0 ~ 8 0 % で、かつ時差回復率が 2 0 ~ 5 0 % であることを特徴とする請求項 1 から 1 0 のいずれかに記載の詰め綿。

[ 計算式 ]

$$( \text{初期厚み} - \text{圧縮厚み} ) / \text{初期厚み} \times 1 0 0 = \text{圧縮率}$$

$$( \text{初期回復厚み} - \text{圧縮厚み} ) / ( \text{初期厚み} - \text{圧縮厚み} ) \times 1 0 0 = \text{初期回復率}$$

$$( \text{後期回復厚み} - \text{圧縮厚み} ) / ( \text{初期厚み} - \text{圧縮厚み} ) \times 1 0 0 = \text{後期回復率}$$

$$( \text{後期回復厚み} - \text{初期回復厚み} ) / ( \text{初期厚み} - \text{初期回復厚み} ) \times 1 0 0 = \text{時差回復率}$$